



深川社協だより

# ふかわ

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会

第53号  
2019.9.1

■発行人 向井文武

熱心に介護実習される参加の皆さん（於）JA深川支店二階



## 介護サポート養成講座を実施しました



深川地区社会福祉協議会

会長 向井文武

上記の写真は深川地区社会福祉協議会がめざす「地域住民の誰もが安心して住み暮らせ、皆で助け支え合う」地域づくりの一環として去る三月二十六日に実施した介護サポート養成講座の風景です。これから急速に進む高齢化、人口減少化、家族の小規模化に対応するには、困っている人への手助けがますます大切となります。そこで深川地区社協では公益社団法人広島市老人福祉施設連盟より講師をお招きし講座を実施しました。広報紙「ふかわ」五十二号などで皆さんの参加を募り、福祉委員やボランティア登録者も含め受講していただきました。介護には老人介護、病人の介護、体の不自由な方に対する介護など多種にわたっています。研修内容はアイマスクを付けたり、手足腰に器具を装着して、視覚、聴覚障がいや体の不自由な方の疑似体験をしたり、二人一組で障害物を避け、目的地に誘導したり、上手に車いすに乗せて安全に移動するなどの介護体験をしました。参加者は高齢者や障がい者の状況や気持ちを理解することの大切さ等を学び、貴重な経験をしました。参加者は高齢者や障がい者の状況や気持ちを理解することの大切さ等を学び、貴重な経験をしました。本受講者の中から「介護を必要としている方へのサポートが少しでもできれば」という声も聞こえました。皆様にはこれから福祉講座に進んで参加していただき、福祉の推進により住みよい地域づくりにご協力をお願いします。

## 「防災と地域包括」

### 支援センターの役割

中村和子（保健師）・田河春香（保健師）

【高陽・亀崎・落合地域包括支援センター】

いのちを守る避難シート	
<small>「警戒レベル3 重点準備・高齢者等避難開始」が発表されたら 避難に時間がかかる人は逃げましょう</small>	
<small>火災や洪水、地震など災害前に決めておきましょう 避難ルートも練習を</small>	
<small>備蓄品 持出し品 備蓄金</small>	
<small>備蓄品や食品のリスト。準備できたら□に○</small>	
<small>備蓄金に割り当てる人(家族や住所の人)</small>	
石油	電気暖房
生活	電気暖房
白米	電話回線
<small>実際に泊まる人(1人で育養するのに必要な人)</small>	
石油	電話回線
<small>高齢者や身体障害者の方に必要な人</small>	
石油	電話回線
<small>避難場所名</small>	
名前	電話回線
<small>中国新聞社 日本地震災士会広島県支部編集部監修</small>	

六月七日に『警戒レベル4』（全員避難）が発令されました。いきいきサロンに参加された皆さんにお聞きしましたところ実際に避難された方はなかつたことや、いつものこと、長年の経験からこれくらいでは避難までは、などの意見がありました。しかしその西日本豪雨災害のような規模や、もっと被害の大きな災害が来ないとは言い切れません。そこで「深川で安心して暮らしていくため」参加者全員で災害についての勉強会を行いました。「避難」について具体的なイメージがでるよう中國新聞に掲載されていた「命を守る避難シート」を利用し、内容を確認しました。

災害後は役所からきた多くの情報をいち早くお届けすることができます。風呂、消毒剤、罹災証明など、お役に立つ情報がきっとあると思います。

「こんなことで困っている」と声を上げてください。高齢者をはじめ災害時に不安を感じている方の、少しでも不安解消のために包括支援センターとしてお手伝いさせてください。

①避難場所（避難ルートも確認）  
②持出し品  
③連絡先（避難時に頼りたい人・気にかける人）  
④自分の名前や、住所など  
「こんなのがすぐ書けるよ」と思われるがちですが、多くの方が悩まれていました。実際に文字にして

みることで、今までイメージしていたことが具体的ではなかったり、現実的ではなかったり、決めていなかったことが改めて分かり、戸惑っておられました。シートを持ち帰り、「家族と一緒に「避難」について考えるきっかけになればと宿題にさせていただきました。

安全に移動して、衛生的な避難生活を送るため「お薬手帳、常備薬、歯ブラシ」が欠かせません。持出し品の中には記入をしてください。皆様もシートが「入用の方は当括支援センターでお分けいたします。

よく包括支援センターは何をしてくれるところ?」と聞かれます。私たちにできることは皆様の困りごとをお聞きして一緒に解決に向けて考えていくことです。災害前であれば「備え」に対する情報提供ができます「災害について地域で勉強会を開きたい」「どこが避難場所かわからなので教えて」、「身体の不自由な方、高齢者の避難についても前もって知つておきたい」などです。

昨年（平成30年）7月に発生した西日本豪雨災害見舞金として、深川地区社協へ左記の方々より寄付をいただきました。謹んで御礼申し上げます

### ■富岡八幡宮神輿総代会第一連合会

三五〇、〇〇〇円

### ■広島出身Jリーガー（ミンナノチカラ）

一〇〇、〇〇〇円

「ふかわ52号」でお知らせした「ふれあいセンター」の電話番号、メールアドレステラスに誤りがありました。訂正してお伝えいたします。正しくは下記の通りです

### ◆深川地区社協ふれあい◆

開館日 毎週水曜日 9:00~12:00  
TEL 082-824-8501  
FAX 082-824-8501  
メールアドレス fukashakyo@sky.plala.or.jp

### 深川地区社協役員交替のお知らせ

平成三十一年総会より（4月28日付）

理事 平田一昭 上庄自治会長

小野光雄 深川台福寿会会長

松本正樹 深川小学校PTA会長

岡野由佳 子ども会育成会会长

田中優子 奥迫地区福祉委員

小林清香 深川台地区福祉委員

なお、この度退任されました皆様には長い間地域福祉にご尽力賜わり有難うございました。今後とも社協の活動にご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 深川の人をたずねて

### 延原幸枝さん（深川8丁目）



お母さんの着物をリフォームしたワンピースを着ておられる延原さん

六月に明光寺で延原さんの着物リフォーム作品展示会があると聞き、家内と見にいってきました。会場に入った途端、作品の多さ、そしてその一つ一つが斬新なデザインで作られており圧倒されました。延原さんは、私たちにそれらの作品について「うちとは○○で、この模様は羽織の紋を縫い付けた」となど丁寧に説明してくださいました。もっと詳しくお話を聞かせていただきたいと思い、後日お宅を訪問しました。

遠くを見つめるように延原さんは次のように、話してくださいました。

「子どもの頃、父母が養蚕をやっており、糸を紡ぎ機織りをし、それを染めて着物を作っていました。春や秋の多忙の時は家族総出で手伝い、そ

生を囲む仲間同志でお互いがアドバイスをしあい、自分なりに工夫をし、数を重ねるうちに、少しずつ自信が持てるようになつた。母が紡いだ父の着物のリフォーム、丹前に布団の柄をパツチワーク、大風呂敷をジャケットに、兵児帯の着物への変身、今まで作った作品の写真を指差しながら、わかりやすく話してくださいました。延原さんの手にかかるれば、どんなものでも生き生きと再生されるんだなと思いました。

大胆なデザインの服を勇気を持って着て歩くうちに「いいですね」と知らない人から声をかけられ、興味を持たれた方もあつたそうです。延原さんの元気は、自分の好きなことを楽しみながらやり続けること。「この度、発表する機会を持つことができ、皆さんに見てもらつて自分にとってとても励みになつた。一度役目を終えた着物が再び日の目を浴び生き返ることってすごくうれしいことです。そんな輪が少しでも広がるといいなと思います」とおっしゃる延原さん。今年で八十四歳になられたそうですが明るい笑顔は本当に輝いていました。

これが着物に興味を持つようになつたきっかけだと思います」と。

今から十八年前ごろ、

あるリフォーム作品に出会い、自分が思つていたリフォームと大きく違うデザインや配色の様子に触れ、目からうろこが落ちた感じがし、先生の話を聞くうちにもつと学びたいと思うようになった。先



### 収入の部

○繰越金	1,903,418
○会費収入 自治会町内会連合会より	100,000
○助成金収入 地区社協運営費	60,000
共同募金実績割金	180,000
福祉の町づくり総合推進事業	150,000
広報紙助成金	15,000
○寄付金収入	650,000
○負担金収入（敬老会参加者）	100,000
○雑収入（預金利息）	2

### 支出の部

○会 費（区社協会費）	95,000
○事務費	185,000
○会議費	15,000
○広報費	100,000
○福祉事業費	
1) 福祉の町づくり総合推進費	280,000
2) 区社協自主事業費	590,000
○助成金	150,000
(女性会・福寿会・青少協・体協・子供会)	
○予備費	1,743,420

収入合計 3,158,420

支出合計 3,158,420

平成31年（令和元年）度予算

深川地区社会福祉協議会

取材は山口悦朗（深川七丁目）

いきいき  
サロン便り

## みつば会

(中郷・西塚・院内)

民生委員児童委員

荒川忠臣

深川保育園の年長さん40人をお迎えして

「みつば会」では、元気ではち切れんばかりの園児さん達の鋭気を少しでも貰えたらと思い、深川保育園の年長さん40人を迎えるました。

日頃からおさらいをした歌やお遊戯の発表もさすがで、あと少しで新一年生として入学する子ども達の心のこもった発表には、お年寄りの皆さん、心身ともに癒されて楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

中でもサロン参加者達とのふれあいで「肩たたき」などはもみじのような可愛い手で和やかにお話もできて心癒して戴きました。

みつば会では毎月第三木曜日にサロンを開催しております。内容も時の話題に沿って健康づくり等に取り組んでいます。「ふれあいいきいきサロン」は各地区で開催日が異なりますが、各地区的民生委員や福祉委員にお問い合わせいただき、皆様のご参加をお待ちしております。



## 敬老会のお知らせ

深川地区社協では地区内に居住される75歳以上の方をお招きして、下記の要領にて「敬老会」を開催いたします。  
皆様のご参加を心よりお待ちいたしております。

- 日 時 9月16日(祝)
- 場 所 高陽公民館2階ホール
- 会 費 500円

★配布される案内状をご覧ください

★館内にはエレベーターが有ります

地 区	75歳対象者数		
	男 性	女 性	計
陰 地	34	39	73
奥 迫	11	15	26
深川台	32	41	73
中 郷	55	103	158
西 塚	55	70	125
院 内	44	69	113
上 庄	40	67	115
下 庄	36	67	103
尾 和	65	94	159
総合計	372	573	945

◆招待者の基準は昭和20年3月31日までに生まれた方としております。

香典や見舞い返し、その他皆様の善意の募金を深川地区社会福祉事業の活動に役立せていただいております。募金に協力しようと思われる方は、各地区的自治会長までお問い合わせください。

(受付順 敬称略)

佐久間紀幸	深川七丁目	藤瀬まゆみ	宮本和一	三谷謙三	谷口清	向井有司	溝口雅和	池田玉枝	河野久美子	杉川耕一郎	竹本智昭	小林 寛	深川四丁目
西尾ノリエ	深川七丁目	深川三丁目	深川二丁目	深川五丁目	深川二丁目	深川八丁目	深川三丁目	深川七丁目	深川六丁目	深川四丁目	深川一丁目	深川一丁目	深川四丁目
佐久間紀幸	深川七丁目	深川三丁目	深川二丁目	深川五丁目	深川二丁目	深川八丁目	深川三丁目	深川七丁目	深川六丁目	深川四丁目	深川一丁目	深川一丁目	深川四丁目

愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。  
(平成三十一年一月～令和元年七月)